





【嵐山・千光寺】

嵐山の大堰川に架かる渡月橋を南に渡り、川沿いの道を西に向かって歩いていくと、千光寺への上り口があります。

急な石段を息を切らして登っていくと千光寺に着き、大悲閣に上がると、遠くに比叡山の眺望が見え、登ってきた疲れも吹き飛びます。

紅葉のとき季には、嵐山と大堰川対岸を覆う色とりどりの錦模様が格別です。

和み地蔵は、その大悲閣のへ世の中に置かれています。



【妙心寺・大心院】

J R 花園駅から北西方向に五分ほど歩くと妙心寺の南門に着きます。境内に入ると、三門、仏殿、法堂、方丈と一列に並び、禅寺らしくきりっとした空気を漂わせています。

法堂前から右に折れると、花園法皇が建てられた妙心寺塔頭の中で最初に建立された玉鳳院があります。

玉鳳院には妙心寺の開祖である関山慧玄（無相大師）の遺骸を葬られた開山堂（微笑庵）があります。

玉鳳院の角にある鐘楼を左に折れると、玉鳳院の裏手に当たるところに大心院があります。

大心院には、阿吽庭といという有名なお庭がありますが、和み地蔵は、本堂の前庭にあります。

大き目の石像に寄り添っているお地蔵さんが和気の和み地蔵で、京都市内にある和み地蔵の第一号です。



【東福寺・芬陀院】

J Rの東福寺駅から南に歩いていくと、東側に東福寺があります。

東福寺の境内に入る道の南側に芬陀院（雪舟寺）があります。

長い縁側で庭を味わいながら座る人が多いようです。

その芬陀院の玄関を上ったところの机の上に和み地蔵が並んでいます

。

お庫裏さんが大切に飾ってくれています。



【東福寺・開山堂】

東福寺の境内に入り、通天橋を問えって開山堂に行きます。

開山堂の門をくぐり、すぐに右の庭の中に目をやると。和み地蔵が顔を見せてしますよ。



【知恩院・勢至堂】

京都、東山に位置する知恩院。

京都三大三門の第一に揚げられる知恩院三門をくぐると急な石段の男坂。
（足に自信のない人用に右手には女坂がある。）

坂を登りきると重厚な建物が見える。法然上人をお祭りしている御影堂である。

その御影堂の奥に、方丈庭園への入り口があり、そこで拝観料を払って庭園に入り、山の上の庭園に行く。

そこは勢至堂と言って、元々の知恩院だという。

その庭の中に和気のとみ地蔵が二体仲良く並んでいる。



【黒谷・金戒光明寺】

平安神宮の北東に、通称、黒谷さんと呼ばれている金戒光明寺があります。

本堂の西隣に大きな石の阿弥陀如来坐像がいて、その横下に和み地蔵はいます。



【黒谷・栄摂院】

金戒光明寺から真如堂に向かう道沿いに栄摂院があります。

紅葉の隠れスポットです。

門をくぐると、左手に小さな石の地蔵さんが立っていて、その足元に和み地蔵がいます。

一緒に赤い前掛けを掛けてもらって。嬉しそうです



【黒谷・真如堂】

金戒光明寺の北側に位置する真如堂。

山門をくぐると右手に三重塔、正面に本堂。

その本堂の左横の弘法大師か何かの像の足元に和み地藏。



【小野・随心院】

地下鉄小野駅から東に10分ほど歩くと随心院があります。

堂内に上がり、能の間や本堂前の廊下から庭を見ながら坐るのが最高です。

和み地蔵は、能の間と書院の間の中庭にいます。